

事前評価個表

整理番号	17
------	----

地域（地区）名	まぶちがわじょうりゅう 馬淵川上流地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岩手県	対象市町村	二戸市ほか5市町村
事業実施期間	H23～H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	馬淵川上流地域は、県の内陸北部に位置しており、北は青森県、西は奥羽山脈で秋田県に接する2市3町1村を包括する地域である。 本地域の森林面積（185,897ha）のうち民有林面積は約7割にあたる134,732haで、人工林面積は59,200ha、人工林率は44%となっている。 人工林の齢級構成は、8齢級をピークに7～12齢級が全体の約65%を占めているなど、森林資源が成熟しつつあるものの、間伐が必要な4～9齢級の森林が65%を占めており、健全な森林を育成していくうえでも間伐等の森林整備が必要となっている。 しかしながら、近年、林業採算性の低下や森林所有者の経営意欲の減退により、手入れが遅れた森林が増加するなど、森林のもつ水源かん養などの公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。 このため、馬淵川上流地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業体等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。 本計画に基づき、効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施し、健全な森林の育成を促進することにより、森林の持つ公益的機能の発揮が可能となるものである。
事業内容・事業費	森林整備：5,691ha 人工造林、下刈り、雪起こし、除伐、間伐、森林作業道等 総事業費：1,506,903千円
費用対効果分析結果	B/C = 3.20
評価結果	必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要不可欠である。 効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。 有効性：森林資源の有効活用の観点、併せて森林整備による水源かん養、土砂流出防備、また多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点から有効である。 本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。

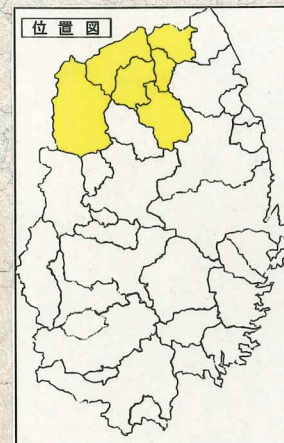
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 馬淵川上流

岩手県
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,657,442	
	流域貯水便益	707,487	
	水質浄化便益	1,207,817	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,205,862	
環境保全便益	炭素固定便益	780,366	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	849,425	
総 便 益 (B)		8,408,399	
総 費 用 (C)		2,623,650	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,408,399}{2,623,650} = 3.20$		

森林環境保全整備事業 馬淵川上流地域（岩手県）概要図



凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—

0.0 5.0 10.0 15.0 20.0 km

1:350000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用したものである。（承認番号 平19総後、第186-22368号）

事前評価個表

整理番号	18
------	----

地域（地区）名	おおづち けせんがわ 大槌・気仙川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岩手県	対象市町村	大船渡市ほか4市町
事業実施期間	H23～H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	大槌・気仙川地域は、県の沿岸南部に位置し、東は太平洋、南は宮城県に接する3市2町を包括する地域である。 本地域の森林面積（133,660ha）のうち民有林面積は約8割にあたる102,050haで、人工林面積は52,057ha、人工林率は51%となっている。 人工林の齢級構成は、8齢級をピークに7～12齢級が全体の約71%を占めるなど、森林資源が成熟しつつあるものの、間伐が必要な4～9齢級の森林が61%を占めており、健全な森林を育成していくうえでも間伐等の森林整備が必要となっている。 しかしながら、近年、林業採算性の低下や森林所有者の経営意欲の減退により、手入れが遅れた森林が増加するなど、森林のもつ水源かん養機能などの公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。 このため、大槌・気仙川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業体等による、集約化された計画的な森林施業を促進する必要がある。 本計画に基づき、効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施し、健全な森林の育成を促進することにより、森林の持つ公益的機能の発揮が可能となるものである。
事業内容・事業費	森林整備：3,246ha 人工造林、下刈り、枝打ち、間伐、森林作業道等 総事業費：1,056,974千円
費用対効果分析結果	B/C = 3.86
評価結果	必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要不可欠である。 効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。 有効性：森林資源の有効活用の観点、併せて森林整備による水源かん養、土砂流出防備、また多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点から有効である。 本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。

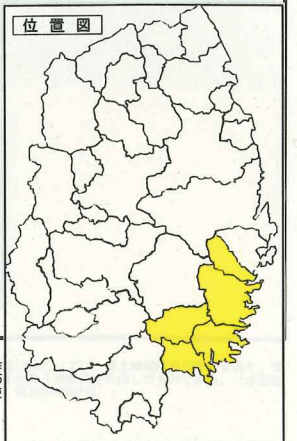
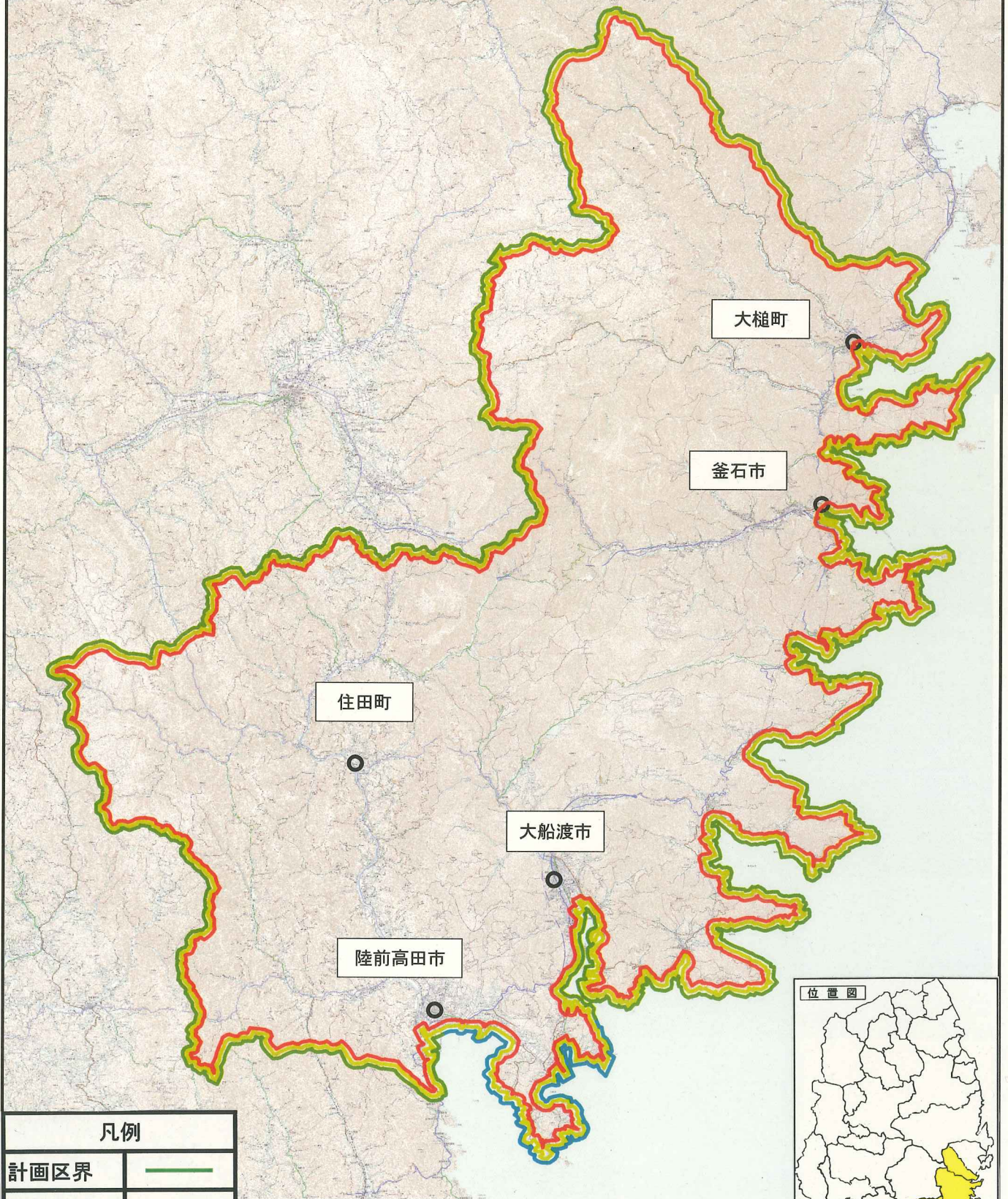
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業
地域名：大槌・気仙川

岩手県
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,951,551	
	流域貯水便益	663,667	
	水質浄化便益	1,133,012	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,329,309	
環境保全便益	炭素固定便益	447,992	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	695,929	
総 便 益 (B)		6,221,460	
総 費 用 (C)		1,609,348	
費用便益比	$B \div C = \frac{6,221,460}{1,609,348} = 3.86$		

森林環境保全整備事業 大槌・気仙川地域（岩手県）概要図



凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—

0.0 2.5 5.0 7.5 10.0 km
1:300000

この地図の作
院発行の2万5
号 平19総便